

氏名	関美雪	部署	看護学科	職名	教授
研究分野	公衆衛生看護学				
学位	博士（医学）				
学歴	筑波大学人間総合科学研究科社会環境医学専攻博士課程				
経歴	19年埼玉県立大学保健医療福祉学部教授				
所属学会（役職）	日本公衆衛生学会、日本公衆衛生看護学会、日本地域看護学会、体力・栄養・免疫学会、日本小児保健協会、日本保健福祉学会				

【2022年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	養護教諭なんでも相談室「子どもの健康管理ー体温についてー」	単著	あり	心とからだの健康 健学社 Vol.26 No.4 P42-43	関美雪	2022.4
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	女性における中高年向けの運動教室の参加者と非参加者の医療費の比較	共著	あり		日本公衆衛生学会誌、70(2)、124-134	寺内祐美, 林裕栄, 関美雪, 延原弘章, 柴田亜希
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	母子健康手帳の育児情報源としての活用状況	共同		第69回小児保健協会学術集会、三重・web	○関美雪, 服部真理子, 石崎順子, 柴田亜希, 伊草綾香, 佐藤玲子, 上原美子, 寺内祐美	2022.6
2	乳児を持つ母親の育児情報に関するインターネット利用の実態	共同		第81回日本公衆衛生学会総会、山梨・web	○関美雪, 服部真理子, 石崎順子, 柴田亜希, 伊草綾香, 佐藤玲子, 上原美子	2022.10
3	「学校事故事例検索データベース」を用いた小学校における障害事例の検討	共同		第11回日本公衆衛生看護学会、宮城・web	○関美雪, 上原美子, 石崎順子, 柴田亜希, 伊草綾香, 黒澤恭子, 服部真理子	2022.12
4	卒業時の到達目標による教育評価 地域の健康課題の明確化と計画・立案する能力に着目して	共同		第11回日本公衆衛生看護学会、宮城・web	○柴田亜希, 石崎順子, 伊草綾香, 黒澤恭子, 服部真理子, 関美雪	2022.12
5	新任保健師の職務状況から捉えた保健師基礎教育の課題に関する一考察	共同		第11回日本公衆衛生看護学会、宮城・web	○服部真理子, 石崎順子, 柴田亜希, 伊草綾香, 黒澤恭子, 関美雪	2022.12
6	新任期自治体保健師における専門的能力とキャリア形成	共同		第11回日本公衆衛生看護学会、宮城・web	○石崎順子, 柴田亜希, 伊草綾香, 黒澤恭子, 服部真理子, 関美雪	2022.12
7	起立時の身体の安定性と 両下肢足趾の筋力の検討	共同		第3回日本フットケア・足病医学会年次学術集会、奈良	○佐藤玲子, 関美雪, 上原美子	2023.2
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）			地域在住高齢者の足部セルフケアの促進と足指筋力の向上を目指したプログラム開発	研究分担者	2019.4～2024.3
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）			胎児性アルコールスペクトラム症候群予防のための女性飲酒教育プログラムの開発	研究分担者	2020.4～2024.3
3	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）			養護教諭とスクールソーシャルワーカーの専門職が協働した保健室経営の実証的研究	研究分担者	2021.4～2024.3

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	公衆衛生看護学	○	12	行政における保健師活動と保健師の専門性と役割について、最近の動向と実際について教授した。
2	公衆衛生看護展開論Ⅰ（母子保健）	○	8	母子保健の現状と課題とそれに対する対策として、母子保健法に準拠したしくみを理解できるように工夫し講義を行った。
3	地域看護学Ⅰ		1	健康な生活を支援するしくみと看護職の役割について、母子保健施策を中心に講義を行った。
4	広域看護学特論②	○	4	地域組織活動と看護職の役割、健康寿命の延伸につながる保健活動の特徴、健康課題解決につながる方策について教授した。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	地区診断論		16	健康課題を明確化するために、実習地を事例としたデータを用いた演習を行い、公衆衛生看護学実習の実践につながるよう工夫した。
2	公衆衛生看護技術Ⅰ		8	相談及び家庭訪問、乳幼児健診における援助技術の演習を行い、公衆衛生看護学実習の実践につながるよう工夫した。
3	公衆衛生看護技術Ⅱ		8	事例検討により、家族のアセスメント及び支援方法の検討を行い、事例管理と専門職連携の理解を深めた。
4	公衆衛生看護技術Ⅲ		8	地区診断で分析した健康課題をふまえて健康教育の立案・実施・評価までの演習を行った。
5	地域看護学Ⅲ		6	在宅看護における看護過程の特徴と展開の方法について、事例の情報からアセスメントと看護課題の検討までの演習を行った。
6	教職実践演習		16	学生自らが、保健室経営ができる養護教諭として必要な資質能力を確認し、不足する知識技能等を補えるように演習を行った。
7	看護学特別演習（広域看護②）	○	16	研究テーマを踏まえた、文献検討、ディスカッションを行い、研究課題の明確化を支援した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	公衆衛生看護学実習		2022.5～2022.6	公衆衛生看護の活動の特徴と保健師の支援方法の理解が深まるよう指導した。
2	地域看護学実習		2022.10～2022.12	訪問看護師の役割の理解や、地域包括支援センターの役割について理解につながる課題を提示しディスカッションを行った。
3	養護実習Ⅰ		2022.9～2022.10	養護教諭としての学校における役割と学校組織を学ぶことを目的として学習支援を行った。
4	養護実習Ⅱ		2022.5～2022.6	養護教諭としての専門性及び実践力を修得し、保健室経営に必要な理論と方法を学ぶことを目的として学習支援を行った。
5	総合実習		2022.7	地区診断を踏まえた保健師活動の企画実施評価までのプロセスの学習と公衆衛生看護活動における保健師の役割の理解を深めた。
6	IPW実習		2022.8	IPW実習の目的に沿って、所属の異なる学生が、意見を出し合い、ディスカッションできるよう学習支援を行った。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2022.4～2022.12	主指導 2名	副指導 名
2	修士論文	2022.4～2023.3	主指導（指導教員） 1名	副指導（指導補助教員） 1名
3	博士論文	2022.4～2023.3	主指導（指導教員） 名	副指導（指導補助教員） 4名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	保健師就職支援	2022.4～2023.3	保健師就職を希望する学生に対して、就職相談、面接カード作成面接、小論文添削を行った。	

4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師			
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ 開催年月
1	令和4年度埼玉県新任保健師研修	埼玉県	新任保健師研修：相談支援の基本とキャリアラダーを用いた活動の評価のコーディネーター 2022.6 2022.12
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等			
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	埼玉県児童虐待重大事例検証委員会	委員	2021.4～現在
2	さいたま市開発審査委員会	委員	2019.4～現在
3	川口市介護保険認定審査会	委員	2005.4～現在
4	川口市地域保健審議会委員	委員	2017.7～現在
5	三郷市母子保健計画進捗管理	アドバイザー	2015.11～現在
6	越谷市まちの整備に関する審議会	委員	2015.11～現在
7	宮代町健康マイレージ事業	アドバイザー	2018.1～現在
8	日本看護協会保健師職能委員会	委員	2017.6～現在
9	全国保健師教育機関協議会国家試験委員会	委員	2021.4～現在
10	全国保健師教育機関協議会北関東・甲信越ブロック	社員	2017.6～現在
11	日本公衆衛生看護学会	査読委員	2016.4～現在
12	全国保健師教育機関協議会	査読委員	2019.10～現在
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	内容 期間
1	該当なし		
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	学科等における委員会等	4年生担任	2022.4～2023.3
2	学科等における委員会等	保健師・助産師関連科目履修者選考委員	2022.4～2023.3
3	全学的委員会及びセンター業務等	養護実習履修者審査	2022.4～2023.3
4	全学的委員会及びセンター業務等	教職関連科目担当者委員	2022.4～2023.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	第11回日本公衆衛生看護学会学術集会一般演題座長（2022.12）		